opusdei.org

地球の北へ

ラモン・ゴヤロラは、オプ ス・デイの司祭で、4年前か らフィランドに住んでいる。

2009/01/23

ラモン・ゴヤロラは、医者として患者の病気を治すだけではなく、心の傷を癒す必要を感じていた。もっで患者の心の奥深くに入ることができればと願っていた。人々の感情や不安にも手を差し伸べることができないかと考えていた。長い間、彼いに実行に移したのだった。

ラモンは、医学を学んだ。これを 会と常に考えて、視野に のころが、時がようにない。 には、たいしてはないと思うが、と思うのでは、 をはまれた。 をはまれた。 をはまれた。 をはまれた。 をはいたがでいるがでいるがです。 ではいるでででいるがでいる。 ののののでででいるがでいるがでいる。 でででいるがでいるがでいるができた。 ででいるができた。 がははないできた。 ははないできた。 ははないできた。 はいいできた。 はいいではないできた。 はいいできた。 はいいできた。 はいいできた。 はいいできた。 といいではないできた。 といいできた。 といいではないできた。 といいできた。 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいでは、 といいでは、 といいでは、 といいできた。 といいでは、 といいなななななななななななななななななななな

司祭となってから、彼は故郷である ビルバオを去り、最初の2年間はセ ビリア(スペイン)で働いた。4年 前にフィランドに派遣される。「 前にフィランドに派遣される。 「も満足している」と彼は言うこい ところ、北欧に行きたいそのら したのは彼の方である。「そからだる したても魅了的」に思えたから がった。今、彼はとても燃えてい

る。全てのエネルギーを注いで、手 がけているプロジェクットを完成さ せようと意気込んでいる。「若い人た ちと付き合っています。アルコール をやめるよう忠告を与えなければな らない人もいれば、勉強に力いれる ように励ます必要のある人もいま す・・・。人それぞれですね。今は、大 学生のための学生寮を始めようと考 えています。そのための建物はもう 見つかっており、現在、寮生を募集 しているところです。寮生たちに、 家庭的な雰囲気を提供したいので す。 」と説明してくれた。

彼のヘルシンキ滞在はもう長く、、永住することになるかもしれない。「私は、もうすっかり馴染んでしまいましたよ。もっと溶け込版舞うによっと「人のようにしています」と語る。そがは達しているようにも見えるが。は達しているようにも見えるが。まれては、「北欧諸国に惚れてしまり、特にフィランドに、と打ち明

ける。「景色の美しさは印象的です。国土の60%が森で10%が水です!」と言う。人々の性格についても、「人柄はとても単純で、裏表がなく、丁寧です。 (・・・) ただ、ちょっと冷たいと感じることもあるかな」とラモンは付け加えた。

さらに、この国に来ることで、ラップランド知ることができた。ラップランドとは、スウェーデン、アの4カ国にまたがるヨーロッパ最北の地方を引いている。ラモンはそこで「歴史的」である。テースでは、と誇っている。「私でするでなく、と誇っている。「私です。私に勲章を与えるべきだ」と快活に冗談を言った。

素晴らしい点は沢山あるが、いくつかの点でカルチャーショックを受けたことがあった。非常に驚かせたことがある。「私が驚いたのは、フィ

ンランド人はとても高い生活水準があるにてがあるということであるいっことがあるというがないの間ではないのでででした。でででですが、いるでは、でですが、いるでは、でですが、いっとがのですが、いっとがのでは、でですが、いっとがのからいかがいらいがのは、でですがあるとの。というには、でいたと思う。

マチルデ・リネオ (電子メール、 ビルバオ、スペイン)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/diqiu-nobei-he/ (2025/11/22)